

県南地方の農林業

つくろう 住み良い農山村 活かそう農林業の力



福島県県南農林事務所

平成16年7月



1 県南地方の概要

(1) 地勢

県南地方は、首都圏から東北圏への入口にあたる福島県の最南端に位置し、栃木県・茨城県に接し、白河市をはじめとする1市4町7村からなり、その面積は1,233.24 km²で、県土の13,782.54 km²の8.9%、中通り地方の23.0%を占めています。

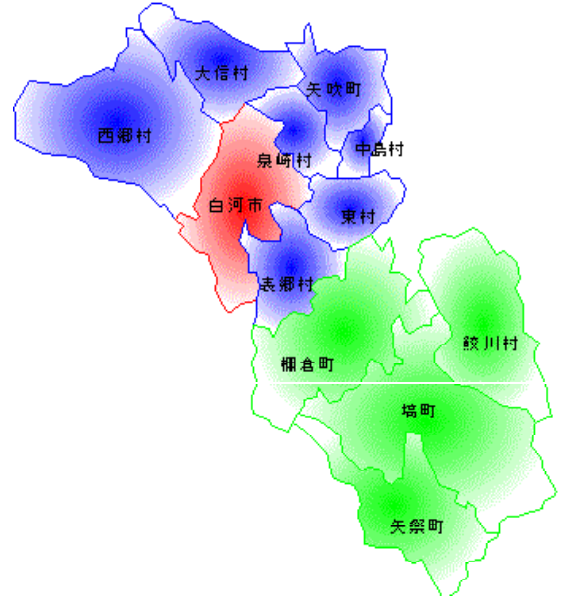
東部に阿武隈山系、西部に奥羽山系、南部に八溝山系があり、西白河地方のほぼ中央を北に向かって流れる阿武隈川と東白川地方の南部を南東に向かって流れる久慈川の流域に沿って平野部が開けています。



(2) 気候

県南地方の気候は、複雑な地形と山系の接近によって山岳気候の影響を強く受け、管内西部に位置する西白河地方では比較的冷涼で気温が低く、降雨量が多いのに対し、東南部の東白川地方は温暖で積雪は極めて少ない気候となっています。

なお、白河合同庁舎の標高は356.63mに位置しています。



(3) 人口

管内の人口は、平成16年4月1日現在、154,598人で、県人口2,105,267人の7.3%を占めています。

このうち白河市が48,026人で31.1%、西白河郡が68,475人で44.3%、東白川郡が38,097人で24.6%をそれぞれ占めています。

年齢別人口割合は年少人口(0~14歳)が24,406人で15.8%、生産年齢人口(15~64歳)が96,983人で62.7%、老年人口(65歳以上)が33,205人で21.5%、年齢不明が4人で、県全体の構成割合とほぼ同じです。

2 農業・農村・森林林業

(1) 農家数・林家数(平成12年世界農林業センサスより)

管内の総世帯数は46,486世帯で、このうち農家数は10,701戸で23.0%を占めています。

農家数の内訳を見ると、販売農家が9,355戸で87.4%、自給的農家が1,346戸で12.6%をそれぞれ占めています。

一方、管内の林家数は4,779戸で、総世帯数の10.3%を占めています。

林家数の内訳を見ると、農家林家が3,993戸で83.6%、非農家林家が786戸で16.4%をそれぞれ占めています。

(2) 就業者構造(平成12年国勢調査より)

管内の就業者総数(15歳以上)は78,648人で、産業別の内訳は、第1次産業が9,268人で11.8%、第2次産業が32,998人で42.0%、第3次産業が36,382人で46.3%をそれぞれ占めています。

第1次産業就業者の内訳を見ると、農業就業者が8,877人で95.8%、林業就業者が368人で4.0%、水産業就業者が23人で0.2%をそれぞれ占めています。

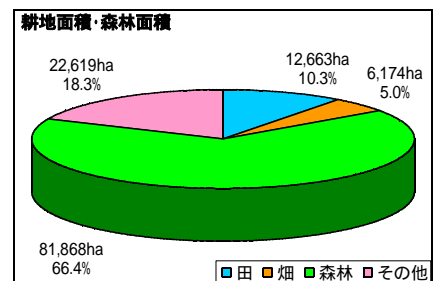
(3) 耕地面積・森林面積(福島農林水産統計年報・福島県森林・林業統計書より)

管内の土地面積は123,324haで、耕地面積は18,837haで土地面積の15.3%を占めています。

耕地面積のうち、田は12,663haで67.2%、畑は6,174haで32.8%をそれぞれ占めています。

また、民有林・国有林を合わせた森林面積は81,868haで、土地面積の66.4%を占めています。

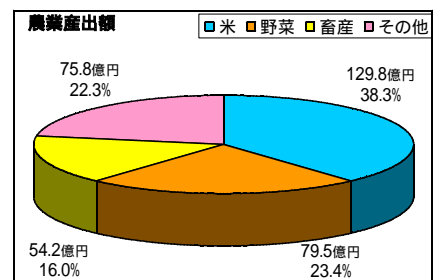
西白河地方では耕地面積の割合が70.5%を占め、東白川地方では森林面積が59.5%を占めており、土地面積の特徴を活かした産業が営まれています。



(4) 農業産出額(福島農林水産統計年報)

管内の平成14年の農業産出額は339億2,600万円で、農産物・畜産・加工農産物が325億8,700万円で96.0%、菌茸類が13億3,900万円で4.0%をそれぞれ占めています。

農業産出額の内訳は最も多いのが米で129億8,000万円で38.3%、次いで野菜の79億5,000万円で23.4%、畜産の54億2,000万円で16.0%、花きの14億9,000万円で4.4%の順となっています。



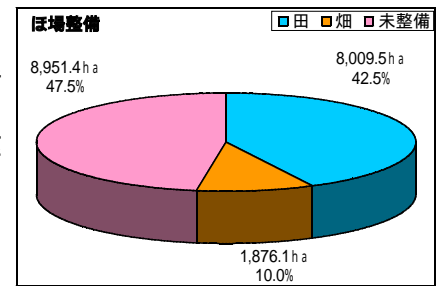
農業産出額は、平成12年以降若干ではあるが増加推移を示しているものの、農産物価格の伸び悩み、担い手の減少、外国産農産物の輸入増加などにより、ピーク時であった昭和60年の429億3,800万円(菌茸類を除く)から103億5,000万円(24.1%)減少しています。

(5) ほ場整備の状況(県農林水産部農村整備領域調査より)

平成15年度末における管内の耕地面積18,837haのうち、ほ場整備面積は9,885.6haで52.5%の整備率となっています。

田の面積12,663haに占めるほ場整備面積は8,009.5haで整備率63.3%となっています。

また、畑の面積6,174haに占めるほ場整備面積は1,876.1haで、30.4%の整備率となっています。



(6) 集落排水処理施設の整備状況(平成15年度県南農林事務所調査より)

管内ではいち早く農業集落排水処理施設の整備に取り組み、現在では管内全市町村の47地区で事業を実施し、既に40の地区で供用を開始しています。

平成15年度末における供用可能人口は33,999人、整備率64.5%となっており、農村における環境の整備が一段と進んでいます。

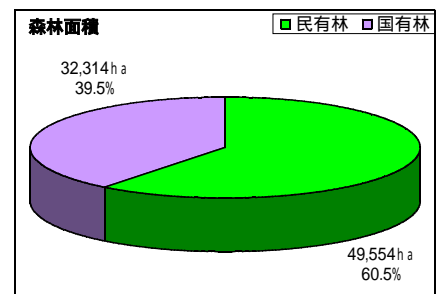
(7) 森林面積(福島県森林・林業統計書より)

当管内は県北、県中、白河市及び西白河郡を包括する阿武隈川森林計画区と東白川郡を包括する奥久慈森林計画区の2つの森林計画区を有しています。

平成14年度末の管内の森林面積は、81,868haで、民有林が49,554ha、国有林が32,314haとなっています。

また、民有林の人工林・天然林面積を見ると、人工林が23,980ha、天然林が24,850haとなっています。

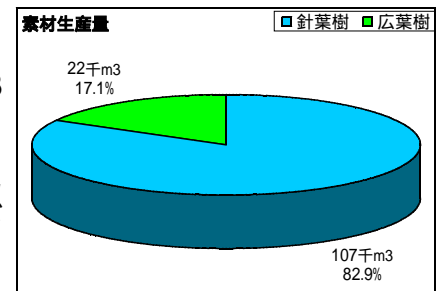
東白川郡を包括する奥久慈森林計画区は特に古くから奥久慈林業として有名であり、民有林27,103haのうち人工林が15,651ha(57.7%)を占めており、県内でも有数の人工林優良材の供給地域となっています。



(8) 林産物の生産状況(福島県森林・林業統計書より)

管内の平成13年の素材生産量は129千m³であり、針葉樹が107千m³、広葉樹が22千m³となっており、東白川郡では素材生産量の84.9%を占め、中でも針葉樹は90.1%にまで達しています。

また、平成14年度の木炭・生しいたけの生産量は、木炭が235t、生しいたけが1,250tとなっており、木炭は鮫川村が、生しいたけは白河市が県内で1位の生産量となっています。



(9) 林道の整備・保安林の指定状況(福島県森林・林業統計書より)

管内における平成14年度末の林道延長は372,053mで、林道密度は7.52m/haとなっており、県平均の林道密度を若干上回っています。中でも、東白川郡については10.42m/haと県内で最も高い林道密度となっており、素材生産に大きく貢献しています。

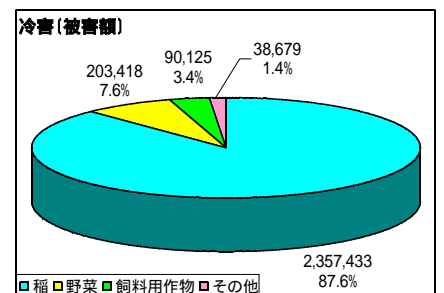
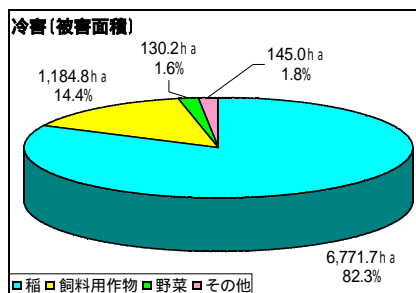
また、平成14年度末の保安林指定面積は3,595haで、昭和55年度末の保安林指定面積2,286haの157.2%にまで伸びており、安全・安心のできる暮らしの実現を図るため計画的な保安林の指定と保安林内の森林の維持造成さらには計画的な治山事業を実施しています。

(10) 平成15年度異常気象災害(冷害)

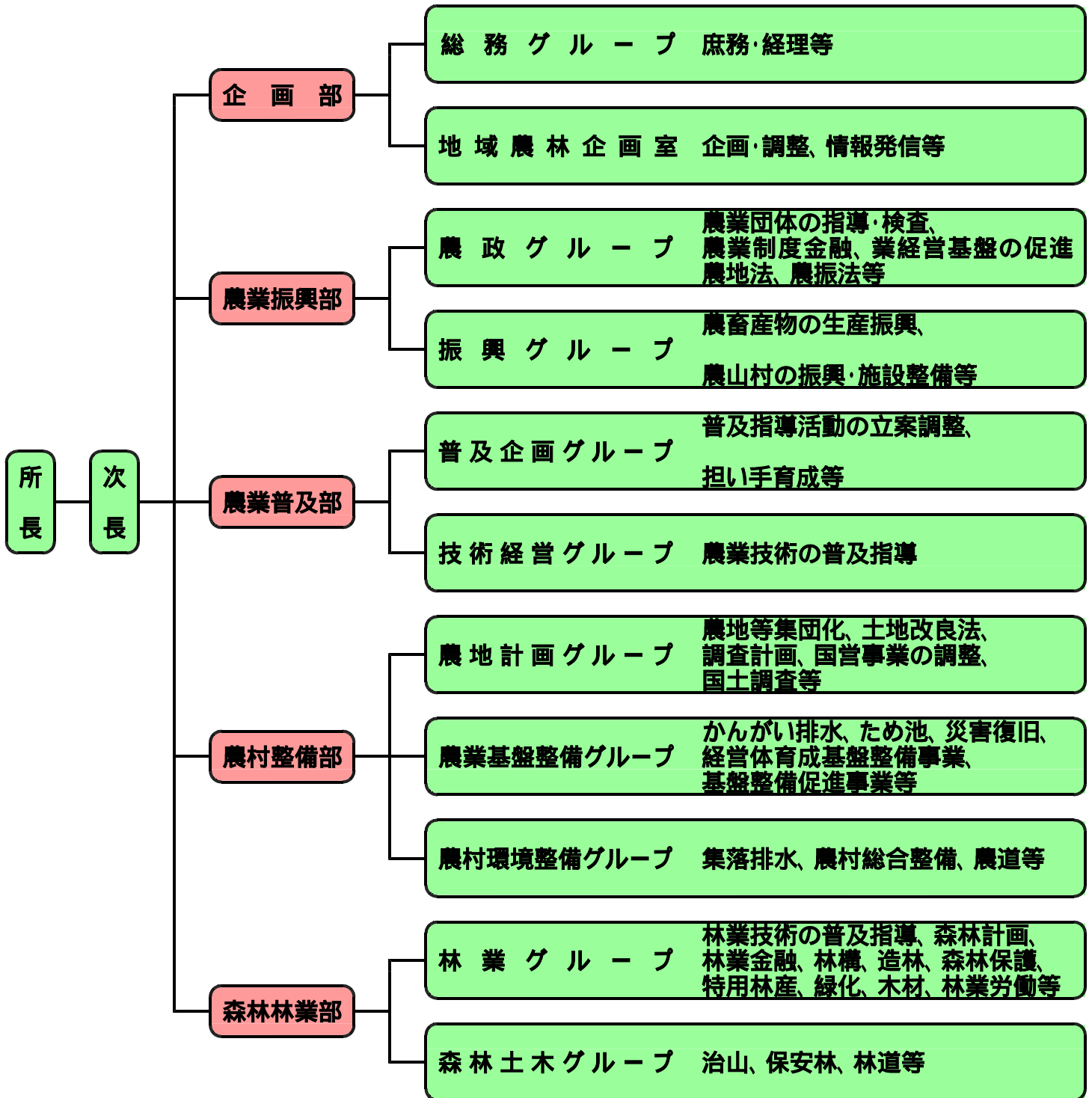
平成15年は6月下旬以降、低温・日照不足が続き、東北南部で「梅雨明けが特定できない」という、平成5年・同10年同様の異常な気象となり、全県的に農作物の異常気象災害が発生しました。

管内の被害状況を見ると、被害面積は8,231.7ha、被害額2,689,655千円であり、県全体に占める被害状況を見ると、被害面積では12.5%、被害額では11.5%となりました。

管内被害面積の内訳では、稲が6,771.7ha、飼料用作物が1,184.8ha、野菜が130.2haであり、被害額では、稲が2,357,433千円、野菜が203,418千円、飼料用作物が90,125千円となっており、水稻の冷害を中心に大きな被害が生じました。



県南農林事務所組織体制図



【所在地】

〒961-0971
 白河市字昭和町269番地
 企画部 電話 0248-23-1572
 農業振興部 " 0248-23-1551
 農業普及部 " 0248-23-1561
 農村整備部 " 0248-23-1581
 企画・整備 FAX 0248-23-1590
 振興・普及 " 0248-23-1559

〒963-6123
 東白川郡棚倉町大字関口字上志宝50-1
 森林林業部 電話 0247-33-2121
 FAX 0247-33-6949

【編集・発行】

福島県県南農林事務所
 企画部地域農林企画室
 電話 0248-23-1577
 FAX 0248-23-1590

Home - Page
<http://www.aff.pref.fukushima.jp/kennan/>
 Mail
kennan.nourin@pref.fukushima.jp